

別紙 1

研究報告書表紙

厚生労働科学研究研究費補助金

医療技術評価総合研究事業

外来主要疾患診断における各問診項目の操作特性に関する研究

平成16年度 総括研究報告書

主任研究者 生坂 政臣

平成 17 (2005) 年 4月

研究報告書目次

目 次

I. 総括研究報告

外来主要疾患診断における各問診項目の操作特性に関する研究 ----- 1

生坂政臣

(資料) 表 1. 頭痛の問診事項 ----- 4

厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）総括研究報告書

外来主要疾患診断における各問診項目の操作特性に関する研究

主任研究者 生坂政臣 千葉大学医学部附属病院 教授

研究要旨

一般外来での高頻度疾患に対する各問診事項の操作特性を明らかにし、効率的かつ正確な病歴聴取術を確立する。科学された病歴聴取法が体系化されれば、検査を最小限に抑え、費用対効果の高い診療の浸透を期待できる。さらにそれらは待合室での患者の手入力による問診装置や、近年盛んになりつつあるコメディカルが担当する電話相談による問診での診断率向上に寄与するデータとなることが期待される。

本研究では、文献収集により、高頻度疾患の診断に必要な問診事項を収集し、これらの問診事項をプログラムされたタッチパネル方式の入力装置を用いて、外来医に問診データを入力させる。その後、各問診事項の感度と特異度と有病率から効率的な主訴別の診断アルゴリズムの作成する。今回の研究では、一般外来または診療所での日常病の問診診断アルゴリズムを、高頻度愁訴すべてについて作成予定であるが、3年間の研究の1年目の結果報告である平成16年度は、全症候に対する愁訴数、罹病期間の分析と、主要症候のうち頭痛の問診の一部が終了している。

頭痛に関しては、以前報告した危険な頭痛に対する最悪、増悪、突発の質問の有用性についてのデータを再検討した結果、一般外来において、3質問の危険な頭痛に対する陽性的中率はいずれも低かったが、その中で、“増悪”は一般外来における危険な頭痛の識別に最も有用であった。また、3質問のいずれにも該当しない場合、危険な頭痛は稀と考えられた。

一般外来における患者の愁訴数の多寡と心因、器質疾患の関係について以前のデータを再検討した結果、愁訴数が多いほど心因精神疾患の可能性が高くなることが確認された。さらに今回の新たな研究結果としては、問診上の症状の罹病期間が長いほど、心因精神疾患の可能性が高くなることが示唆された。

主要症候のうち、頭痛については、それぞれの問診事項をタッチパネル式デバイスに組み込み、調査を開始したところであるが、これらの研究結果については次の報告書に記載する。

A. 研究目的

近年、EBMの普及に伴い、各検査や身体所見の操作特性が重視されるようになった。しかし、病歴の個々の情報についての疾患に対する操作特性は十分検討されていない。医療面接による臨床推論のプロセスにおいては、可能性の低い疾患の除外には感度の高い質問により、また可能性の高い疾患の診断には特異度の高い質問により、効率的な病歴診断が可能となる。外来での主要疾患の各病歴情報の感度、特異度、尤度比などの操作特性を明らかにすることによって問診の効率を高め、結果として費用対効果の高い診療の基盤作りを目指す。

B. 研究方法

エキスパートパネルおよび文献渉猟により、主要症候ごとに重要と思われる情報を集積し、タッチパネル式問診診断用のプログラムに組み込む。これをベースにして、各症候を主訴に受診した外来患者の病歴情報を、各外来医がタッチパネル方式の自動問診装置に入力する。これらの詳細な病歴情報と、当部あるいは当該専門診療科などの最終診断より、症候ごとの各問診事項の操作特性を割り出す。ついで、各症候を生じる各疾患の一般外来での有病率を考慮し、それらの疾患に対する各問診事項の感度・特異度から、問診診断のアルゴリズムを作成する。本研究では主要症候として、頭痛、めまい、胸痛、腰痛、腹痛、しびれ、下痢、便秘、体重減少、倦怠感、発熱、咳嗽などを対象とする予定である。

C. 研究結果

3年間の研究の1年目の結果報告である。現在、頭痛の問診の一部と、全症候に対する愁訴数、罹病期間の分析までが終了している。

以前報告した危険な頭痛に対する最悪、増悪、突発の質問の有用性についてのデータを再検討した結果、どの質問も危険な頭痛に対する陽性的中率は低かった。その中で、「増悪」という質問が唯一統計学的に意味のある質問であり、オッズ比は16.3であった。3質問のいずれかに該当した場合、危険な頭痛に対する陽性的中率は4.1%であった。さらに突発頭痛をきたした際のSAHに対する陽性的中率は1.7%であった。3質問の該当数による陽性的中率の検討では、いずれにも該当しない頭痛に危険な頭痛はみられなかった。該当数が増えるにつれて危険な頭痛の陽性的中率が増加し、2つ該当の陽性的中率は9.1であった。しかしながら、3つ全て該当するものに危険な頭痛はみられなかった。以上をまとめると、一般外来において、3質問の危険な頭痛に対する陽性的中率はいずれも低かったが、その中で、「増悪」は一般外来における危険な頭痛の識別に最も有用であった。また、3質問のいずれにも該当しない場合、危険な頭痛は稀と考えられた。

一般外来における患者の愁訴数の多寡と心因、器質疾患の関係について以前のデータを再検討した結果、愁訴数が多いほど心因精神疾患の可能性が高くなった。今回の新たな研究結果としては、問診上の症状の罹病期間が長いほど、心因精神疾患の可能性が高くなることが示唆された。主要症候のうち、頭痛については、それぞれの問診事項をタッチパネル式デバイスに組み込み、調査を開始したところである（表1）。

D. 考察、E. 結論

初年度の研究が遅れており、考察、結論については次回の報告書に記載予定。

F. 健康危険情報

特記事項無し。

G. 研究発表

1. 論文発表

Basugi A, Ikusaka M, Kim S, Mikasa G. Usefulness Of Three Simple Questions To Detect Dangerous Headaches In Outpatient Settings. Internal Medicine (submitted)

Shin Ho Kim, Masatomi Ikusaka, Grant Mikasa, Ayako Basugi, Kiyota Ayano. The usefulness of the number of complaints in a questionnaire for diagnosing psychiatric disorders. Jpn J Prim Care (submitted)

2. 学会発表

生坂政臣. 一般外来の腹痛患者における非消化器系疾患についての検討, DDW-JAPAN 2004(指定口演) 特別企画:プライマリケアにおける消化器臨床のあり方、福岡市、2004年10月22日(抄録: 日本消化器病学会雑誌. Vol.101, supplement Sep. 2004, A395)

Basugi A, Ikusaka M, Kim S, Mikasa G. Usefulness Of Three Simple Questions To Detect Dangerous Headaches In Outpatient Settings. 17th World Conference of Family Doctors, Orlando, USA, Oct. 16, 2004.

Grant Mikasa, Masatomi Ikusaka, Shin Ho Kim, Ayako Basugi. The usefulness of asking 'duration' in diagnosing psychiatric disorders. 18th World Conference of Family Doctors, Asia Pacific Regional Conference 2005 Kyoto, (submitted)

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし。

2. 実用新案登録

なし。

資料 1. 頭痛の間診表

性別	男性/女性
身長	__cm
体重	__kg
あなたの頭痛についてお尋ねします いつ始まりましたか？	__時間前から __日前から __ヶ月前から __年前から
突然起こりましたか？	はい/いいえ
悪化していますか？	はい/いいえ
今までに似たような頭痛を経験したことがありますか？	はい/いいえ
「はい」と答えた方にお尋ねします。 どのくらいの頻度で起こりますか？	
数ヶ月に1回から月1-2回	はい/いいえ
週に2-3回からほとんど毎日	はい/いいえ
ある一定期間頻回に起こる	はい/いいえ
年単位で地震のようにまとまって起こる	はい/いいえ
頭痛が発症した年齢は？	__歳頃から
1回の頭痛の持続時間はどのくらいですか？	
数秒ですか？	はい/いいえ
数分ですか？	はい/いいえ
数時間ですか？	はい/いいえ
一日中続きますか？	はい/いいえ
一日のうち最も痛みが強いのは	
朝	はい/いいえ
日中	はい/いいえ
夜	はい/いいえ
睡眠中	はい/いいえ
きまってない	はい/いいえ
感冒症状（鼻水・のどの痛みなど）はありますか？	はい/いいえ
「はい」と答えた方におうかがいします。	
かぜ薬（総合感冒薬）を服用されましたか？	はい/いいえ
鼻水の色は黄色または緑色ですか？	はい/いいえ
頭痛はあなたの日常生活に影響を及ぼしますか？	はい/いいえ
「はい」と答えた方におうかがいします。	
頭痛で寝込んでしまうことがありますか？	はい/いいえ
痛みがひどくてじっとしてられないことがありますか？	はい/いいえ
頭痛の際、以下のような症状を伴いますか？	
吐き気/嘔吐	あり/なし
肩こり	あり/なし
目の疲れ	あり/なし
顔の痛み	あり/なし
音が気になる	あり/なし
光が気になる	
片方の目が赤くなる	あり/なし
片方の目から涙が出てくる	あり/なし

まぶたが下がる	あり/なし
物が見づらい、視力低下	あり/なし
鼻がつまる	あり/なし
鼻水がでる	
発熱	あり/なし
38℃以上の熱が出ましたか？	あり/なし
手足が動かなくなったり力が入らなくなることがある	あり/なし
どのあたりが痛みますか？	
左	はい/いいえ
右	はい/いいえ
頭全体	はい/いいえ
こめかみ	はい/いいえ
目の奥	はい/いいえ
後頭部	はい/いいえ
首筋の後ろ	はい/いいえ
顔	はい/いいえ
どのような痛みですか？	
しめつけられるような痛み	はい/いいえ
ずきん、ずきんと脈打つような痛み	はい/いいえ
電気が走るようなビリビリした痛み	はい/いいえ
えぐられるような痛み	はい/いいえ
じっとしてられない	はい/いいえ
動くと痛みが増す	はい/いいえ
割れるような痛み	はい/いいえ
頭痛が起こる前に眼がチカチカする	はい/いいえ
バットで殴られたような痛み	はい/いいえ
頭痛に対して痛み止めの薬は服用されましたか？	はい/いいえ
「はい」と答えた方におうかがいします。	
薬は効きましたか？	はい/いいえ
薬の効きが悪くなったり、1日に服薬する量が増えていますか？	はい/いいえ
頭痛の際、痛みがその他の場所にひびきますか？	はい/いいえ
頭痛のきっかけと思われることはありますか？	
アルコール摂取	あり/なし
食べ物（チーズ、チョコレートなど）の摂取	あり/なし
カフェイン（コーヒー）	あり/なし
目の使いすぎ	あり/なし
排便	あり/なし
食事	あり/なし
生理	あり/なし
寝不足	あり/なし
寝過ぎ	あり/なし
精神的ストレス	あり/なし
激しい運動	あり/なし
性交	あり/なし
咳きこみ	あり/なし
頭痛は温めると（入浴など）改善しますか？	はい/いいえ
頭痛は横になると楽になりますか？	はい/いいえ
いびきをかきますか？	はい/いいえ
日中、耐えがたい眠気がありますか？	あり/なし

今までに頭部CTまたはMRI検査を受けたことがありますか？	あり/なし
高血圧の既往はありますか？	あり/なし
頭部外傷の既往はありますか？	あり/なし
2親等以内の血縁者にクモ膜下出血の人がいますか？	いる/いない
家族（特に母親）に頭痛持ちの人がいますか？	いる/いない
その方は頭痛で寝込んでいましたか	はい/いいえ
その方は頭痛で吐いていましたか	はい/いいえ
最近、生活環境（職場、引っ越しなど）が変わりましたか？	はい/いいえ
最近気分が落ち込んでいますか？	はい/いいえ
気晴らしはありますか？	あり/なし
睡眠障害はありますか？	あり/なし
ある場合	
寝つきが悪い	はい/いいえ
夜中に目が覚める	はい/いいえ
朝早く目が覚める	はい/いいえ
タバコは吸いますか？	はい/いいえ
1日に何本吸いますか？	__本
お酒をのみますか？	はい/いいえ
お酒をのむ方へ	
飲酒量を減らそうと思ったことがありますか？	はい/いいえ
「酒を控えた方がいい」と注意されたことがありますか？	はい/いいえ
飲酒について後悔したり罪悪感を感じたことがありますか？	はい/いいえ
朝から飲酒することがありますか？	はい/いいえ
この問診は長すぎますか？	はい/いいえ

別紙 4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

なし

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Basugi A, Ikusaka M , Kim S, Mikasa G.	Usefulness Of Three Simple Questions To Detect Dangerous Headaches In Outpatient Settings.	Intenal Medicine (submitted)			
Shin Ho Kim, Masato mi Ikusaka, Grant Mikasa, Ayako Basugi , Kiyota Ayano.	The usefulness of the number of complaints in a questionnaire for diagnosing psychiatric disorders.	Jpn J Prim Care (submitted)			